

Koriyama West Weekly Report



第37回例会
No.2870

会長/鈴木 茂 幹事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文

会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理

事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847

例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

会員卓話「巨大地震に備えるべき理由」 「郡山市ため池ハザードマップ」 滝田 吉宏氏

開会点鐘 ロータリーソング斉唱
「我らの生業」 四つのテスト唱和
鈴木 茂会長挨拶

皆様こんにちは。本日もご参集頂き有難うございます。本日は古川会員の卓話でしたが、コロナ罹患により急遽滝田幹事にお願いする事になりました。流石消防団の要職を務められている滝田幹事、あっという間に火消し完了、二つ返事で卓話を受けて頂きました。楽しみにしたいと思います。

先日の観桜会は多数のご出席有難うございました。先達の作った演壇で乾杯のご発声させて頂きました。演壇の詳細は年次計画書郡山西RCの概要に載っています。当時の会長は太田舜二氏とあります。どんな想いで演壇を作ったのか、思いをはせた次第です。これからも郡山西RCの歴史は続きます。新しい会員を迎えながら、残り少ない会長職を努めて参りたいと思いますので、本日も宜しくお願い致します。

出席報告 今泉雄二出席小委員長
会員数 41 名 出席者数 21 名 欠席者数 20 名 出席率 51.22% 前回出席率 100%
ニコニコBOX報告

阿部治江ニコニコBOX委員長
伊東孝弥会員 桜が終わり、次は藤・つつじ・牡丹です。GW後半には見頃でしょう。滝田吉宏幹事 今日はお手柔らかにお願いします。阿部治江会員 金田岩光会員 関根英樹会員 高橋金一会員 滝田さんピンチヒッター有難うございます。鈴木 茂会長 滝田さん急遽のご依頼でしたが、受けて頂き有難うございます。七海正克会員 笑顔が一番。

石田 弘会員 乾 敦史会員
今泉雄二会員 遠藤雄一会員
鈴木淳弥会員 樽川 啓会員
天間陸美会員 堀江正喜会員
緑川昭彦会員 宮本 孝会員
村上博人会員 柳沼克彦会員

今週のニコニコ大賞 滝田吉宏幹事

会員卓話「巨大地震に備えるべき理由」

滝田吉宏氏

急遽ピンチヒッターとして卓話をする事になりました。東京都は、関東大震災から100年を契機とした自助・共助の更なる促進を図るため、都民の災害への備えを促す防災ブック「東京くらし防災(平成29年度作成)」及び「東京防災(平成27年度作成)」のリニューアルを行いました。近年の災害の最新情報のほか、社会の多様性や居住形態の変化、国際環境の動向などを反映しています。私



は防災士として、また特定非営利活動法人福島県防災士会(日本防災士会 福島県支部)理事長として、近頃実しやかに噂されている南海トラフ地震や首都直下地震について、正しく備えて頂くため「東京防災」からの抜粋してこれからご説明します。

巨大地震に備えるべき理由

日本は地震多発地帯

日本が地震大国といわれるのは、周辺に複数のプレート(岩盤)が存在し、それらが「ずれ」を起こすことで地震を誘発するからです。こうしたプレートの変動は、大規模な首都直下地震等にもつながることが想定されています。



首都直下地震とは

東京の地下は様々なプレートが沈み込む複雑な構造をしているため、都心・多摩地区などを震源として南関東地域でマグニチュード(M)7クラスの巨大な直下型地震が起こることが想定されています。

南海トラフ巨大地震とは

東海から九州におよぶ南海トラフを震源として起こることが想定されているのが海溝型の南海トラフ巨大地震です。東京等首都圏も震動係ではなく、最大震度6弱の揺れに襲われ、津波が発生する危険性があります。

いろいろな避難ケースを想定

東京の場合、首都ならではの人口の多さから、避難所に収容人数を超える人が押し寄せたり、道路の混雑で緊急車両が通れなくなるなど、「人が人のいのちを守る」状況になりかねません。ライフラインが断絶を受けると、復旧までの間、電気・ガス・水道・下水道などが使えなくなるおそれがあります。

身の安全を守るために

避難場所への避難

避難場所は、危機が切迫した状況において、いのちを守るために緊急的に避難する場所です。各区市町村のホームページ等で事前に確認しておきましょう。

最低3日分~1週間分の食料を

備蓄して備えたい在宅避難

自宅に居住の継続ができるなら在宅避難をしましょう。避難所では、環境の変化等によって体調を崩す人もいます。日頃から最低3日分~1週間分の食料等を備えておくことでよいでしょう。

自宅に危険が生じた場合に

一時的な受け入れ先となる避難所

自宅に居住できなくなった被災者が一定期間滞在して避難生活を送る場所です。東京都内では約4,800か所の避難所が確保されています。

自宅や避難所以外の選択先

親戚・知人宅・ホテル

安全の確保されている親戚・知人の家への避難や、ホテルへの宿泊も選択の選択肢のひとつです。多様な避難方法を知り、日頃からどう行動を取るかを想定しておきましょう。

日常備蓄とは

災害に備えて特別に備えるのではなく、自宅で生活するうえで必要な食料品や生活必需品を日頃から備えておく「日常備蓄」が重要です。備蓄のポイントは「普段使っている物を少し多めに備えること」です。



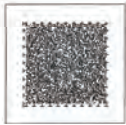
「東京備蓄ナビ」では、自分に必要な備蓄品目・数量の目安が調べられます。サイト内では、備蓄の考え方や保存期限のレシピを知ることができます。



参考モデル／夫婦と乳幼児、高齢女性1人の
4人の家族で戸建て住宅にお住まいの例

※コンタクトレンズを使用、乳幼児はアレルギーあり、高齢女性は補聴器使用者を想定
※おおよそ3日分～1週間程度の目安量

食品等		個別に必要な物	
水	1人1日3L	女性	生理用品
即席麺	4kg	30歳セット	30歳セット
乾麺（そばの味噌湯等）	27食	乳幼児	粉ミルクスティックタイプ
菓物の缶詰	3パック		液体ミルク
レトルト食品	9食		アレルギー対応 離乳食
野菜ジュース	9本		おむつ
飲み物の飲み物(500ml)	9本		使い捨て哺乳瓶
チーズ・プロテインバーなど	3パック	高齢者	おやつ
お菓子	3パック		補聴器用電池
栄養補助食品	9箱		入れ歯洗浄剤
健康飲料粉末	9袋		
生活用品		定期的に使用確認を行う物	
ポリ袋	1箱	カセットコンロ	2台
ラップ	1本	カセットボンベ	8本
アルミホイル	4箱	簡易トイレ・簡易トイレ	45回分
ティッシュペーパー	4ロール	懐中電灯	2台
トイレットペーパー	2巻	LEDランタン	最低3台
点火棒	2本	ヘッドライト	4個
市販ガムテープ	9組	乾電池	適量
軍手	1箱	手回し充電式のラジオ	1台
ビニール手袋	1箱	モバイルの充電器	適量
（予備バッテリー）		リュックザック	1個
衛生用品			
消毒液	1箱		
マスク	9枚		
常備薬・サプリメント	1箱		
除菌ウェットティッシュ	120枚		
使い捨てコンタクトレンズ	1人1か月分		
アルコールスプレー	2本		
拭き取りウェットティッシュ	90枚程度		



安否確認をする手段を整える

災害の備えとして、安否の確認や家族の連絡手段をどうするかを決めておくことも大切です。職場や外出先で急に災害が起こっても、速方に暮れることのないようにしておきましょう。

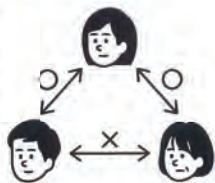
家族会議を開き、避難先を確認する

事前に家族で決めておきたいことは、別々の場所で被災した場合の安否確認の手段です。電話やメールはつながりにくくなることを想定し、複数の連絡手段を準備しておきましょう。また、連絡がとれない場合も考慮して、避難場所とそこまでの経路、そして集合場所も具体的に決めておきましょう。



様々な連絡手段を確保する

災害が起こると連絡が取りづらい場合もあります。そんなときは離れた場所に住む家族や親戚、知人の家を中継点にする「三角連絡法」を取り入れ、災害用伝言ダイヤルなども選択肢に入れましょう。また、家族の職場に緊急時の連絡手段の決まりがあるかも確認しておきましょう。一人暮らしの方は、親しい友人や近所に信頼できる人がいれば、日頃から話し合っておきましょう。



NTT 東日本が提供する災害用伝言ダイヤル「171」

被災者が安否メッセージを登録し、家族や友人がそれを聞く「声の伝言板」です。インターネットから安否確認を行う「web171」もあります。

災害用伝言板

携帯電話会社が提供し、携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録や確認をすることができます。

公衆電話

災害時、一般的な電話回線はつながりやすくなりますが、公衆電話は比較的つながりやすいといわれています。

SNSを活用する

現在は多くの人がスマートフォンを持ち、SNSやメッセージアプリを利用しています。電話回線がつながりにくくても、SNSを通じた連絡は取りやすい場合もあります。家族でグループを作っておくと、日頃から準備しておく安心です。

※大規模災害の発生時は、災害用に提供されるWi-Fiサービス「00000JAPAN」が無料開放されます。スマートフォンのWi-Fiの設定画面で「00000JAPAN」を選択することで利用できます。

災害時に限り、公衆電話が無料で使える場合も。デジタル公衆電話は、硬貨やテレホンカードは不要で通話が可能。アナログ公衆電話は硬貨またはテレホンカードの投入が必要ですが、通話料はそのまま返却されます。100円硬貨は戻らない場合もあります。

※電波状況によっては通話できないこともあります。

出典：All About「専門家が見る、災害時の正しいSNS活用術」
IT ソリューションガイド 編集後記 | <https://allabout.co.jp/gn/gn/463515/>

「郡山市ため池ハザードマップ」

次に郡山市で作成している、洪水、内水等、いくつかのハザードマップの中から、ため池ハザードマップについて、4つの地域のご説明をします。このハザードマップは、地震等により、万が一、ため池が満水状態で決壊した場合の浸水が予想される範囲とその深さ、洪水が到達するまでの時間を表示し、市民の皆さんの防災意識の向上や避難行動に役立てて頂く事を目的としています。

